

職員の資質向上と水稻の航空防除をどうするのか

職員研修の充実と防除協議会を見直す



中倉 毅議員

大崎町の職員の大部分は、はじめに意欲的に取り組んでいるが、一部職員の中に挨拶や電話応対等に問題があるという住民の声がある。どのような意識で住民サービスをしているか。

住民本意の立場で

町長

職員の挨拶や電話応対については、朝礼等で指導しており、住民本位の意識をもって対応していると思っている。

資質向上対策は

中倉議員

職員の公務員としての態度、事務処理能力、対人関係等多くの問題が職員の資質にかかわってくるのか。

各種研修会を実施

町長

県自治研修センター等で公務員倫理、服務規律、行財政、接遇、能率論、町政、会計その他職務に関する基礎知識等を実施している。また、朝礼時や職場研修の形で事例研修を実施しており、今後も職員の資質向上をはかって行きたい。

研修担当参事の配置は

中倉議員

男女共同参画社会の観点からも総務課内に女性の課長級の研修担当を配置して、職員の資質向上をはかるべきと考えるがどうか。

現体制で対応したい

町長

現在、総務課長と課長補佐で対応しており、今後この体制でしたい。

早期米の等級と要因は

中倉議員

本年産早期米の検査等級はどうだったか。また、その要因は何か。

一等米わずか9%

町長

一等9%、二等46%、三等39%、規格外6%でこの要因はカメモシの被害と航空防除面積が約6割程度と少なかったことが主な要因と思う。

今後の対策は

中倉議員

本年度のような航空防除では、来年度も同じよ

うな結果になる。今後の対策をどうするのか。

防除協議会を見直す

町長

ポジティブリスト制度が施行されたので、生産

者、団体、公民館、行政等関係者で新たな防除協議会をつくり、農家の意見を取り入れて実施したい。



無人ヘリを使った水稻の病害虫防除



散布の状況